

MARUEI MIYAZAKI

挑戦と感謝の

30年



MARUEI MIYAZAKI

Since 1993

丸栄宮崎30年の歴史

第1章 丸栄宮崎誕生 ～突然の指名～

第2章 丸栄宮崎の船出 ～本社工場完成～

- 1993年7月 宮崎県宮崎郡佐土原町に丸栄宮崎株式会社を設立
- 1994年5月 本社工場を設立

1997

第3章 苦境を乗り越える ～御縁と成長～

- 1997年3月 本社工場を増設
- 1998年5月 丸栄工業が宮崎工場（現：TRP工場）を設立
- 2004年3月 丸栄工業が宮崎工場（現：TRP工場）を増設
- 2004年7月 ISO9001認証取得
- 2004年8月 冷間鍛造機PF640を導入（本社工場）
- 2005年12月 冷間鍛造機BPF630・3を導入（本社工場）

2006

第4章 危機を好機に ～未来への先行投資～

- 2006年1月 丸栄工業（宮崎工場）を丸栄宮崎へ統合、TRP工場へ名称変更
- 2006年7月 イノベーショナルセンターを設立
- 2007年5月 冷間鍛造機BPF650を導入（本社工場）
- 2008年4月 TRP工場を増設
- 2008年5月 冷間鍛造機SF200・7を導入（本社工場）
- 2008年6月 日本赤十字社・宮崎県支部に救急車を寄贈
- 2008年7月 冷間鍛造機BPF740を導入（本社工場）

10

08

06

04



代表取締役社長
高木 謙次

2023年、丸栄宮崎株式会社は創立30周年を迎えることが出来ましたこと、大変喜ばしく存じます。これもひとえにこれまで企業発展の為に努力してきて下さった、諸先輩、従業員の皆さん、取引先企業のご支援の賜物と厚く敬意を表すると共に感謝申し上げます。
我々はこれからも、より良い明日を次の世代に届ける、そんな企業であり続けます。

2010

第5章 企業のまちづくり ～宮崎テクノビレッジ～

- 2010年2月 冷間鍛造機 BPF630・4を導入（本社工場）
- 2010年4月 丸栄宮崎MTV工場を設立
- 2010年5月 宮崎テクノビレッジ計画始動
- 2011年1月 工機課を設立
- 2011年1月 切削ライン（WX・30）初号機を導入（MTV工場）
- 2012年3月 第1世代鍛造機（SRF100・7・IF・740）を導入（本社工場）

2013

第6章 絆とプロ意識 ～ILCPCプロジェクト～

- 2015年1月 ILCPC..IF740・2号機を導入（本社工場）
- 2015年2月 ILCPC..E・BOX搭載の切削設備XW・30を導入（MTV工場）
- 2015年12月 自社開発の超音波洗浄装置を導入（MTV工場）
- 2017年1月 丸栄テクノス（宮崎工場）を丸栄宮崎へ統合、サターン工場へ名称変更
- 2017年5月 MTV工場を増設、増設工場の名称をLuna工場とし稼働開始
- 2018年1月 丸栄宮崎マスコットキャラクター『MB・025』誕生
- 2018年1月 ILCPC..内製設備（HYBRIDGRW）を導入（サターン工場）

2020

第7章 丸栄グループの中核へ ～コロナ禍を乗り越えて～

2023

第8章 丸栄宮崎の未来へ ～新たな始まり～

- 2023年1月 愛知県丸栄テクノス工場を丸栄宮崎へ統合、丸栄宮崎テクノス工場へ名称変更

20XX

18

16

14

12

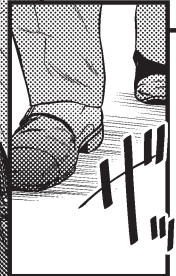


丸栄宮崎誕生

～突然の指名～

30
30 YEARS OF HISTORY

第1章

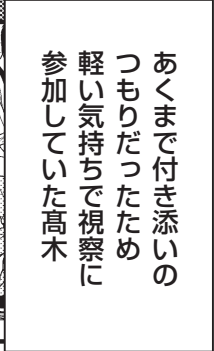


1992年
丸栄宮崎の物語は
この男から始まった

高木 謙次
現：丸栄宮崎
代表取締役社長



当時
丸栄工業の取締役
だった高木は
誘致企業として
立地を切望していた
宮崎県宮崎郡佐土原町を
視察に訪れていた



ところが
2回目の視察の際――



天木 正巳
当時の丸栄工業(株)
(現：MARUEI(株))
代表取締役



のちに
社長となる天木から
まさかの指名



やるしかない…

断りきれず承諾し
丸栄宮崎の設立担当者となった



町長や県議会議員も
いる場での指名

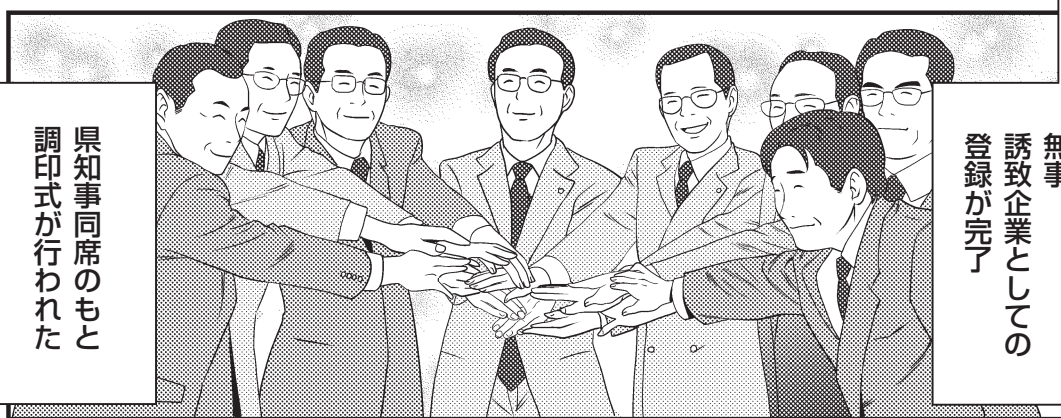


皆さん
こいつのことを
よろしく
お願いしますね!



知らない土地で
いきなり担当を
まかされることになった

四苦八苦しながらも
周囲の協力のもと
設立に向けて奔走し…



1993年7月
無事
誘致企業としての
登録が完了

県知事同席のもと
調印式が行われた

丸栄宮崎誕生の瞬間である

丸栄宮崎の船出

～本社工場完成～





時にはこうした
宮崎の気候の
洗礼を受けながらも

面接を繰り返し
人材を確保して
いった



翌日
佐土原まで
視察に行った際にも

台風の威力を
目の当たりにした

これは大変だ



面接後も様々な
アクシデントに
見舞われた

そして
立地調印から10カ月後の
1994年5月――

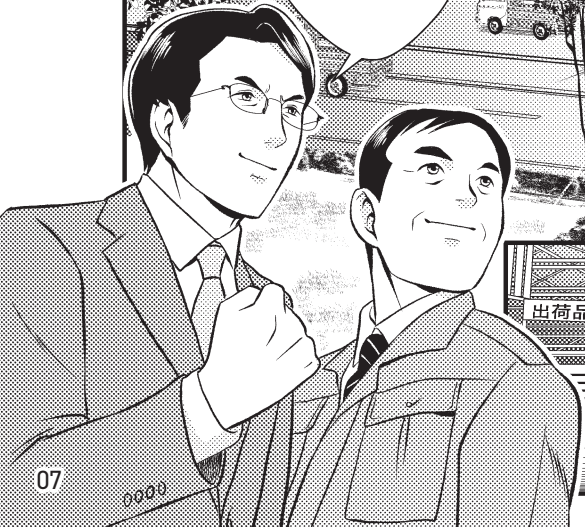
丸栄宮崎

ここから
本格始動だ……!

意気揚々
順風満帆の
船出であった

丸栄宮崎
本社工場が完成

岡崎・豊橋から
移設された機械も
備え付けられ
稼動を開始



出荷品

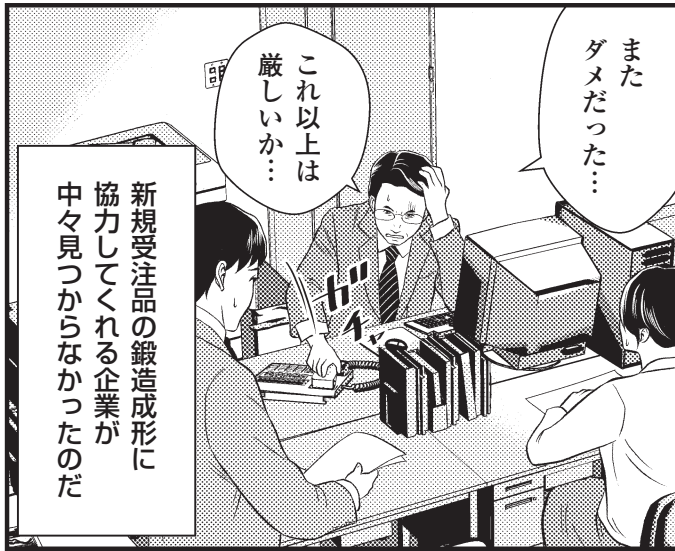
苦境を乗り越える

～御縁と成長～

1997年3月

T社D6関連部
3品番の新規受注で
設備増設の計画が進む中…

ある問題に直面する!!



しかし
あきらめることなく
粘り強い交渉を続けた

新規受注品の鍛造成形に
協力してくれる企業が
中々見つからなかったのだ



なんとか
S社からの
協力を獲得

最初は
「そんな
ムリや!」
思いました

私の負けです

一緒に
いい金型を
作りましょう

ありがとうございます
ございます!

取引先 Y氏



しかしその後も…

「客先ラインオフ直前にテストが
できなくなる」
「排気センサー部品大増産による
混乱」

など多くの困難に見舞われた

取引先
K氏

切削テスト用
鍛造ブランクは
いついただけを
でしょうか…?

もう少しだけ
待ってられないか



どうすれば…

そんな時
手を差し述べて
くれた人々がいた

製造状況を
変える前に

ほかに
原因がないかを
探りましょう

取引先
H氏

はい!

H氏をはじめとした
様々な人の協力を得て
なんとか危機を乗り切り

排気センサー部品の
生産体制も無事に構築

会社も順調に
成長していった



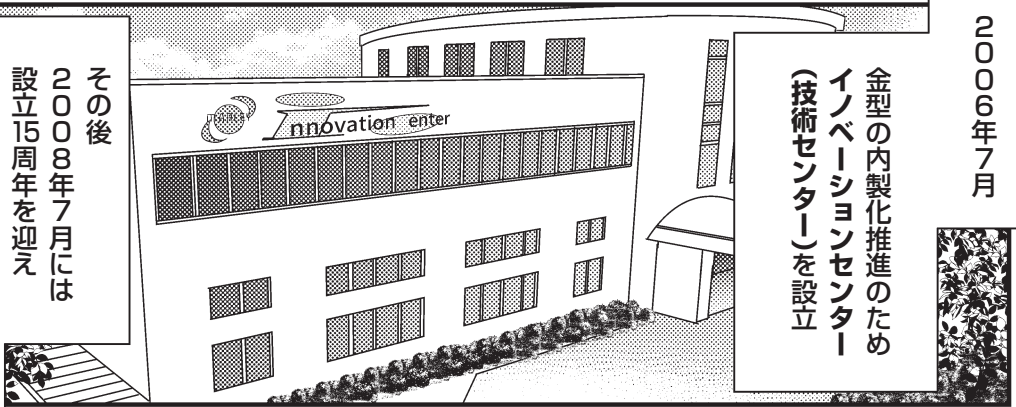
危機を好機に ～未来への先行投資～

2006年7月

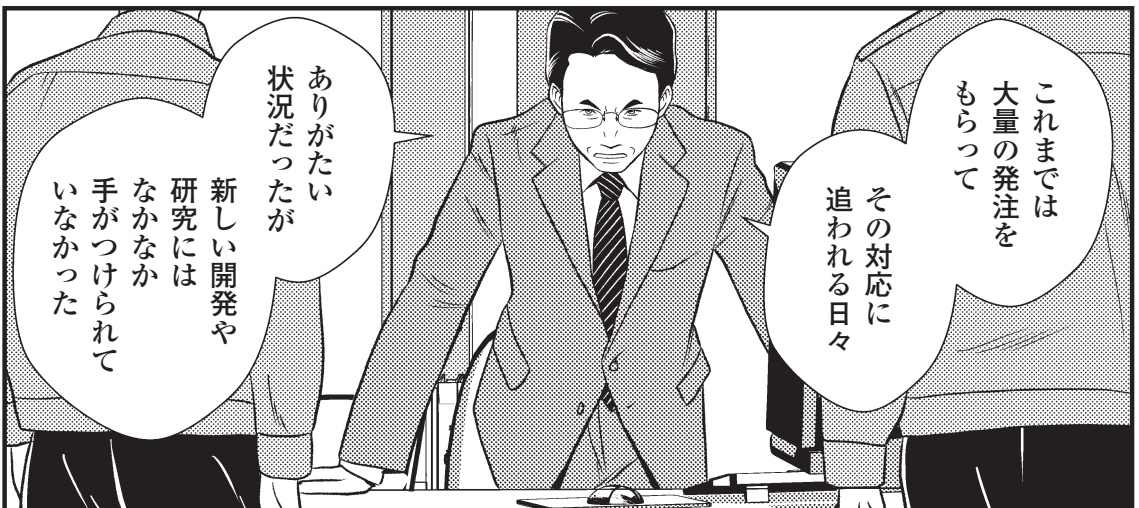
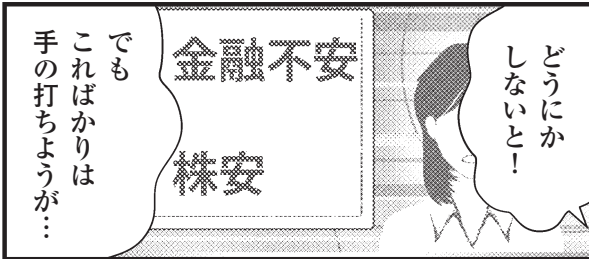
金型の内製化推進のため
イノベーションセンター
(技術センター)を設立

その後
2008年7月には
設立15周年を迎え

丸栄宮崎全体に
明るいムードが
立ち込める中…



それは突然の出来事だった





暗くならず
未来への先行投資
期間だと思っ

今自分たちに
できることを
やろう！

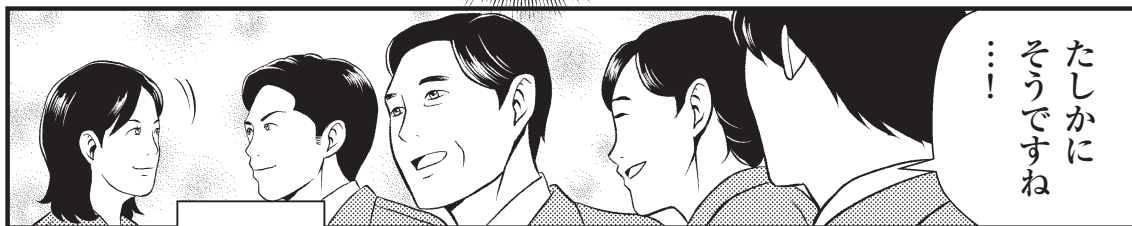


時間ができた
今だからこそ

そこに力を
注げるんじや
ないか？

せっかく
イノベーション
センターを
設立したのだから

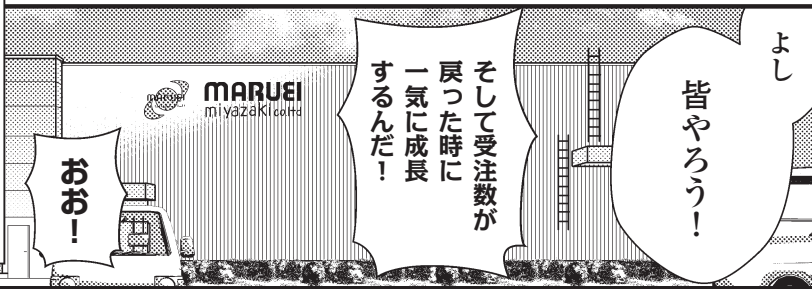
今こそ
自社の技術部門を
充実させるぞ！



たしかに
そうですね
…！

考え方を切り替え

技術の拡充や
鍛造金型の内製化、
現場環境の改善を
推進



よし

皆やろう！

そして受注数が
戻った時に
一気に成長
するんだ！

おお！



どんな時でも
一生懸命前向きに
努力すれば
なんとかなる！

リーマンショックの裏で
取り組んだ活動の甲斐もあり
丸栄宮崎は明るい未来へと
再び順調に漕ぎ出して
いくのであった



その後、約半年で
リーマンショックの
影響は落ち着き
受注数も無事回復

MARUEI
mi yazaki co., ltd.

企業のまちづくり ～宮崎テクノビレッジ～



2010年

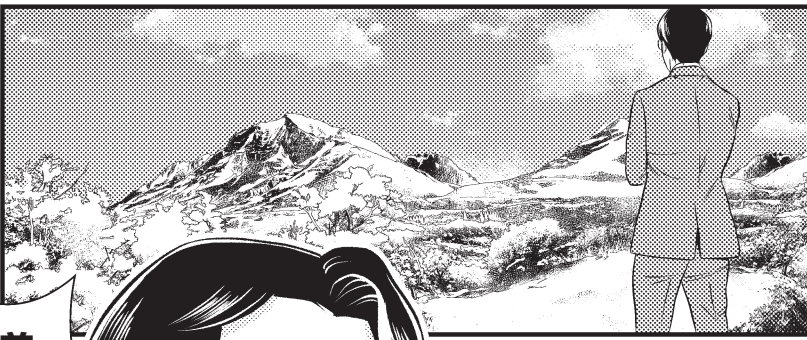
研究開発を中核に据え
その周りに様々な
施設を備えたミニタウンを
作るという壮大な構想――

「宮崎テクノビレッジ
構想プロジェクト」が
始動

丸栄宮崎(株)
佐土原駅

宮崎テクノビレッジ

日向住吉駅

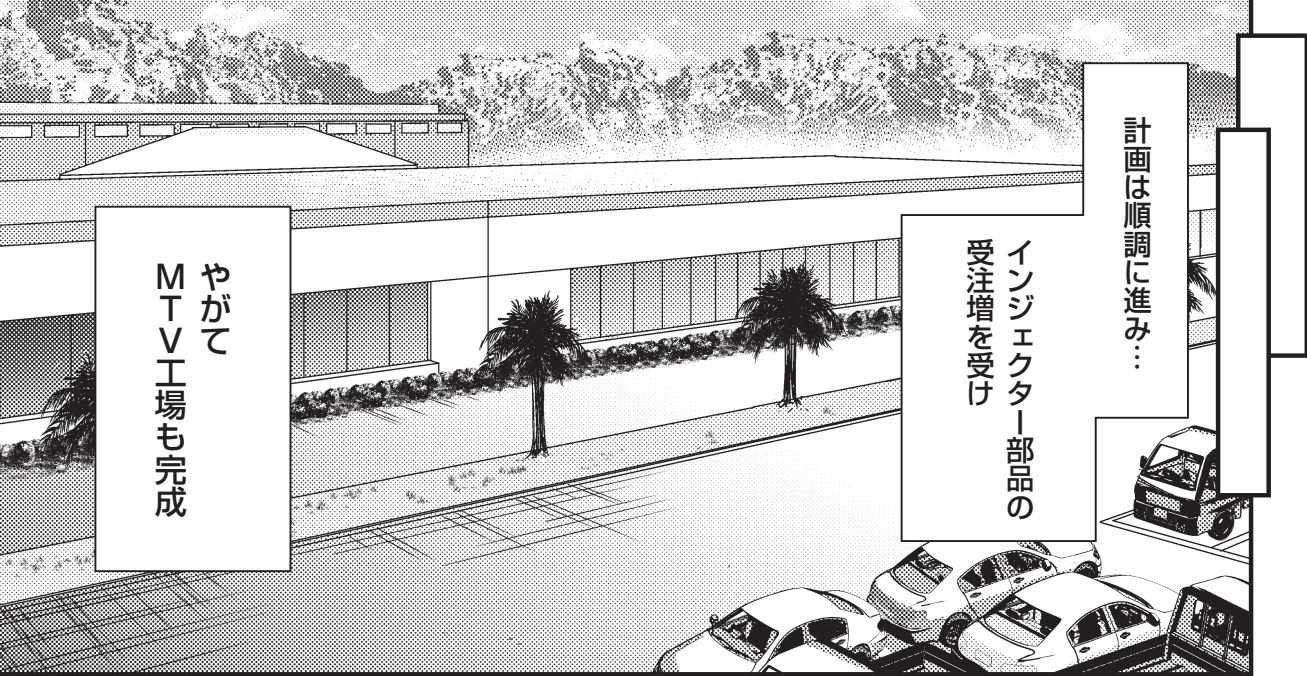


構想自体は
土地を購入する段階から
存在していたものの

具体的には
動き出せずにいた



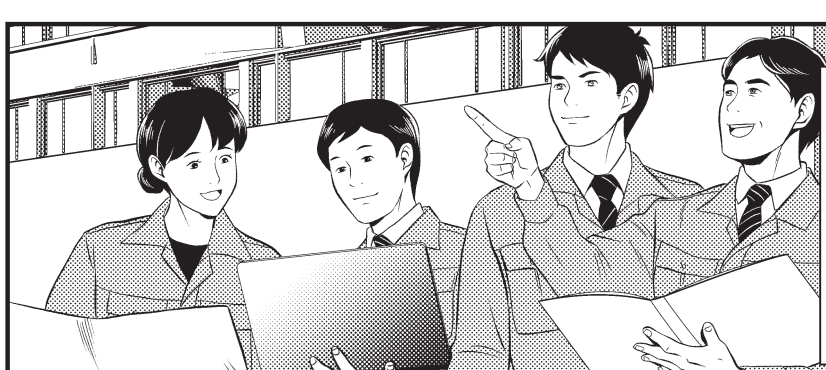
こんな時期
だからこそ
思い切って
始めるべきだ…



やがて
MTV工場も完成

インジェクター部品の
受注増を受け

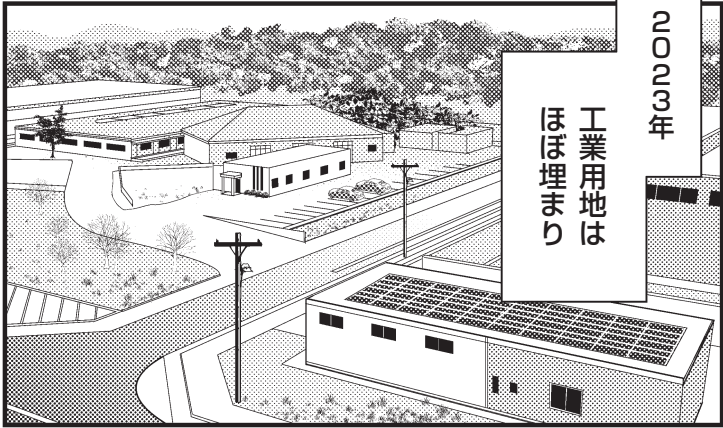
計画は順調に進み…



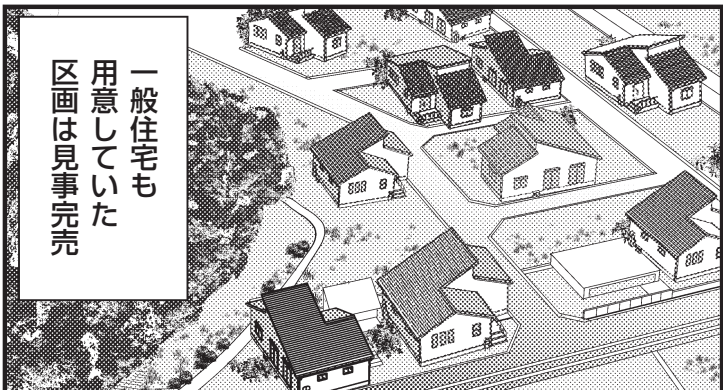
まちづくりという
初めての試みに
悪戦苦闘しつつも
社員一丸となって
推進していき…



企業と住宅が調和した
今までにない
新しい形の街が今
完成しつつある



2023年
工業用地は
ほぼ埋まり



一般住宅も
用意していた
区画は見事完売

絆とプロ意識 ～ILCPプロジェクト～

2013年
インジエクター部品の
2製品の受注が決定

量産立ち上げに向け
最適な生産設備も
開発しようという
発想から

「ILCPプロジェクト」
が発足する

ILCP
プロジェクト

各設備メーカー
担当者

しかし革新的な
プロジェクトで
あったがゆえ
反発する声も続出

今までの
やり方から
本当に変える
必要があるん
ですか？

どうした
ものか…

〃 〃 〃

そうだ！
各メーカーさんと
並行して話を進めて

「皆さん
もうちょっと
できるんじゃ
ないですか？」

いい
アイデアかも
しれませんね

なるほど！

よし
早速
声をかけよう

名付けて
「競合作戦」だ！

競合作戦！

MARUEI
miVIZaKi.co.ltd

その後
高木の作戦は功を奏し
プロジェクトは無事成功

IF-740 1号機

その他の企業の
協力も得て…

本社工場とMTV工場に
鍛造機と切削機が設置される

鍛造機

切削機

休日なのに
すみません

とんでも
ない！

我が子のような
ものですから

取引先
S氏

ILCPプロジェクトの
立ち上げは
会社を大きく成長させた
出来事だったが

同時に関係各社との絆と
それぞれのプロジェクト意識を感じる
出来事でもあった

あそこで調整して
くれているのは

競合メーカーさん
同士じゃないか！

競合作戦なんて
言ったが

各社さんには
本当に頭が
上がらないな

丸栄グループの中核へ

～コロナ禍を乗り越えて～

2020年

新型コロナウイルスが世界的に大流行

半導体不足の影響も重なり

受注減で毎週金曜日は工場をストップせざるを得なくなるなど丸栄宮崎も大きな打撃を受ける

経費削減などに取り組みながらなんとかこの状況を乗り越えようとしていた最中

ベトナム工場の状況が耳に飛び込んでくる

ベトナム工場が隔離!?

検疫が厳しく工場自体が隔離

必要人数しか工場に入ることができず生産が間に合わない状況だった

ベトナム社員約1300人のうち

300人程度が工場に寝泊まりし生産対応しているそうです

寝泊まり…

向こうも大変そうだが…

宮崎もこの困難な状況を乗り越えてみせるぞ!



それに伴い
愛知県豊橋市にある
丸栄テクノス工場は

丸栄宮崎と統合する
流れとなる



2022年度より
両拠点間の地道な
すり合わせを
重ねていった結果…

2023年に
無事統合

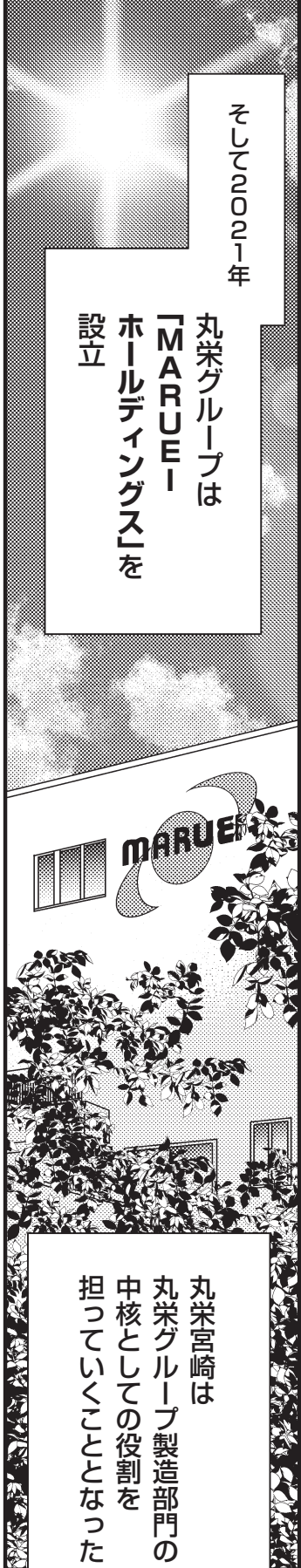


中間 隆之
現：丸栄宮崎
テクノス工場
工場長



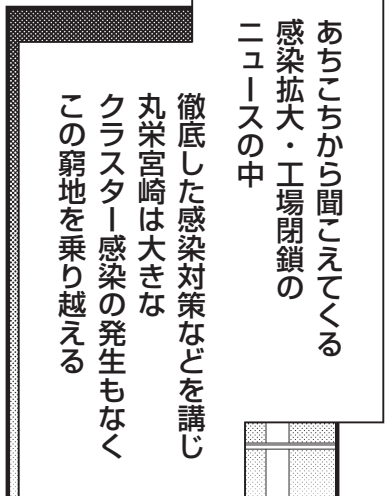
これら
2つの出来事を通して
丸栄宮崎を中心に
MARUEEの
生産部門全体の結束は
より強固になった
のであった

生産部門



そして2021年

丸栄グループは
「MARUEE
ホールディングス」を
設立



あちこちから聞こえてくる
感染拡大・工場閉鎖の
ニュースの中

徹底した感染対策などを講じ
丸栄宮崎は大きな
クラスター感染の発生もなく
この窮地を乗り越える



ベトナム工場も
現地社員の頑張りもあり
幸い危機的状況は回避され
工場隔離は解除

徐々に
通常の生産体制へと
戻っていった

丸栄宮崎は
丸栄グループ製造部門の
中核としての役割を
担っていくこととなった

丸栄宮崎の未来へ

～新たな始まり～

30
30 YEARS OF HISTORY

第8章

そして
2023年7月

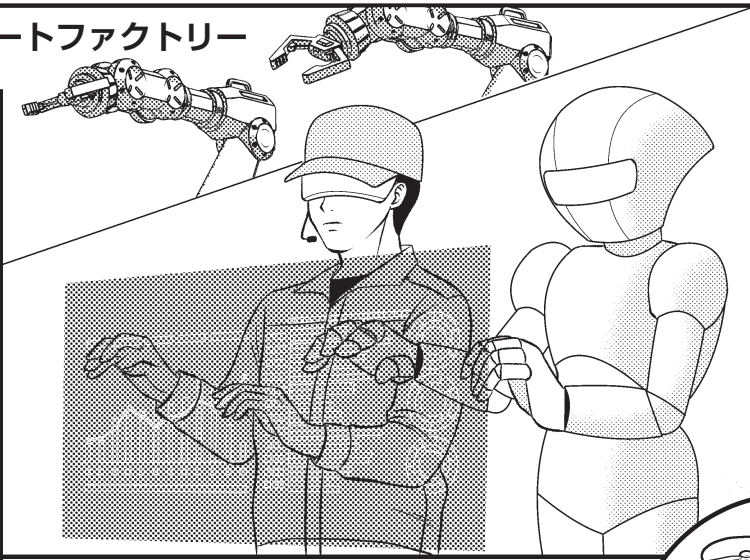
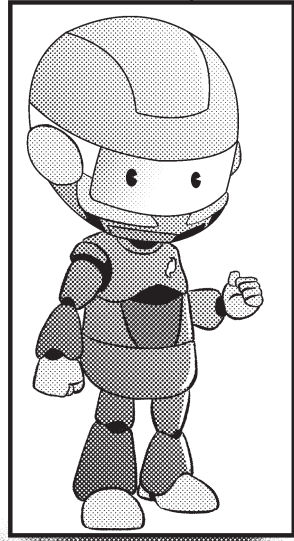
丸栄宮崎株式会社は
30周年を迎えた

多くの困難に
見舞われながらも

様々なことに
チャレンジしてきた
30年でした

ILCP
プロジェクト

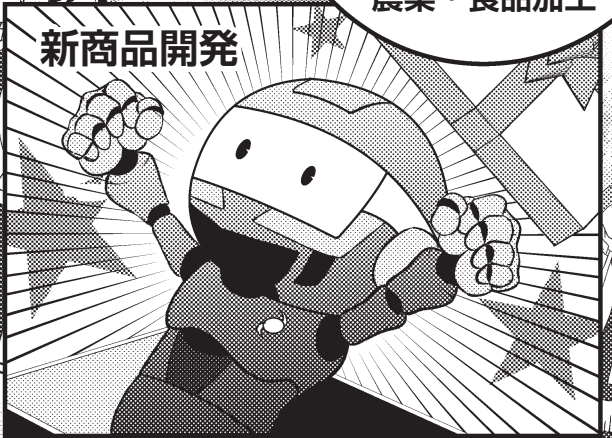
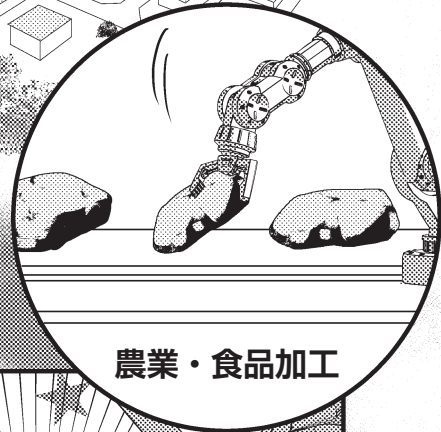
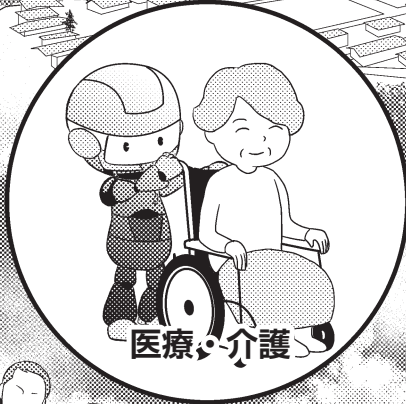
スマートファクトリー



そして
次の30年に向けて――



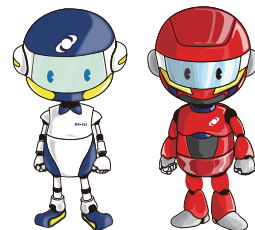
ここからまた
丸栄宮崎の
新たな物語が
始まる――



MARUEI MARUEI



丸栄宮崎 周年キャラクター



MB-025

MB-030



丸栄宮崎株式会社

〒880-0303 宮崎県宮崎市佐土原町東上那珂11956-4 TEL : 0985-74-3900

お問い合わせ先

本社工場 TEL : 0985-74-3900
 MTV工場 TEL : 0985-30-5770
 サターン工場 TEL : 0985-75-0007

TRP工場 TEL : 0985-30-5346
 イノベーションセンター TEL : 0985-30-5215
 テクノス工場 TEL : 0532-43-2444

コーポレートサイトは
 こちらから
<https://www.marueimiyazaki.jp/>

